

3. 北関東（地域別調査機関：（財）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	一般レストラン （経営者）	来客数の動き	・客の動きが活発になっており、歓迎会、花見など予約客も多く、売上が増加している。
	やや良く なっている	一般小売店〔精肉〕 （経営者）	お客様の様子	・食肉関係の病気も一応落ち着き、気候が良くなって客が動き出してきたので、売上も上昇する。
		一般小売店〔金物〕 （経営者）	販売量の動き	・材料関係の値段が、中国、アメリカへの輸出等の関係でかなり上がっているが、価格の上昇にもかかわらず、数量的にはあまり減らないで売れている。
		百貨店（売場主任）	来客数の動き	・毎月テーマを決めてイベント、企画を実施し、前向きに攻めの姿勢で取り組んでおり、4月はゴールデンウィークを前にトラベルフェア、コーディネートフェアを開催している。5、6月は夏のパターンオーダーフェア、父の日セールで黄色いハンカチをプレゼントということも考えている。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・主食以外の商品、酒、デザート、飲物、珍味等の販売が前年を上回る傾向にある。全体の販売量も前年実績をクリアしている。
		コンビニ（店長）	販売量の動き	・大きな祭りがあったため、売上の底上げができています。日々の販売も、試食や単品の集中販売といった取組が功を奏して、売上の回復につながっている。前年度比で売上が120%、来客数が113%とそれぞれ上向いている。
		衣料品専門店 （経営者）	競争相手の様子	・近隣に出店したスーパーの影響で、人の流れが変わり、商店街に客が戻ってきている。
		乗用車販売店 （販売担当）	販売量の動き	・3か月前と比べ、中古車の売行きが激しく伸びている。身の回りの景気が良くなったことが原因かもしれないが、宣伝をすれば中古車の販売量が順調に伸びていくという状況なので、良くなっている。
		一般レストラン （業務担当）	販売量の動き	・年度替わりに関連する、各種団体（商工会議所関連、法人会、その他）の総会、懇親会に関して、前年の実績を下回ることなく獲得できているのでやや良い。
		スナック（経営者）	来客数の動き	・今年は割合桜の時期が長かったため、花見に客を取られてしまい、フリー客の動きは今一つであるが、例年と比べて宴会の流れは比較的良く、それほど落ち込んでいるわけではない。
		都市型ホテル （スタッフ）	販売量の動き	・前年度に比べて、歓送迎会が増えている。3か月前と比べ、宴会、宿泊、各レストランの客数が若干増加している。
		タクシー運転手	来客数の動き	・飲み屋からの呼出しが若干多くなってきている。週末、特に金、土曜日は増えている。
		タクシー運転手	お客様の様子	・4月は歓迎会の時期でもあり、金、土曜日の人通りが多く、利用客が増加している。単価は1,500～2,000円程度で、飲食店から駅までの利用が多い。
		遊園地（職員）	単価の動き	・ゴールデンウィーク前半は、好天にもかかわらず客足の伸びが鈍いものの、利用単価は前年比で約200円上昇しており、客の消費意欲は上向きつつある。
		設計事務所（所長）	来客数の動き	・2～3か月前は来客数がかなり厳しい状況にあったが、それと比べると現在は動きが良い。かなり忙しく、下請に発注している状態である。
	住宅販売会社 （経営者）	来客数の動き	・客が最近積極的に物件を検討するようになっており、良い条件の物件の場合は返答が速く、成約に至ることが多くなってきている。	
変わらない		商店街（代表者）	販売量の動き	・消費者に商品が行き渡っているのか、とにかく売上が伸びない。卸業も小売業も同じ状況である。
		百貨店（店長）	販売量の動き	・3月は前年の売上実績を達成することができたが、4月は前年の96%台となっている。
		スーパー（経営者）	単価の動き	・総額表示に伴い、販売価格の設定が難しくなっている。4月1日以前の外税表示の売価を内税扱いとして販売しないと売れないような状況が続いている。
		スーパー（経営者）	単価の動き	・4月から実施されている総額表示の影響もあるかもしれないが、前年比を3か月前と比べると、客単価は2.5%程度、買上点数が3%減少している。

	スーパー（統括）	販売量の動き	・4月中旬の気温上昇により、初夏物衣料が好調な動きとなっている。来客数は変わらないものの、総額表示導入による値ごろ感の喪失から、買上点数が3～5%落ち込んだが、マスコミによる景気の回復基調報道の影響もあり、月半ば以降は徐々に前年並みの買上点数に戻り、月末には前年を上回る勢いである。落ち込んでいる客単価も、少しずつではあるが確実に上昇している。
	コンビニ（店長）	お客様の様子	・新製品や景品が付くような目新しい商品があると若干動きが出てくるが、特別購買意欲をそそるような商品がない場合は変わらない。
	住関連専門店（店長）	単価の動き	・客単価が低下しており、厳しい状況は変わっていない。
	高級レストラン（店長）	来客数の動き	・会社関係の顔合わせや、歓迎会などをランチで簡単に済ませる傾向が定着しつつあり、ディナータイムの宴会予約が減少している。
	都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・宿泊、集宴会は前年並みであるが、婚礼、レストランの売上が低調であることから、全体では前年よりマイナスとなっている。
	旅行代理店（経営者）	来客数の動き	・例年同様にゴールデンウィークの来客数は増加しているものの、その分、他の時期の受注が減少しているので、変わらない。
	タクシー運転手	お客様の様子	・歓送迎会や花見でタクシーを利用する客が予想に反して少なく、全体的にみても営業回数が目立って減少している。
	観光名所（職員）	お客様の様子	・7年に1度の祭りがあり、祭り関連の商品は前回以上の売上となっているが、その他は例年並みである。
	ゴルフ場（支配人）	来客数の動き	・土日祝日の来場者数は安定しているが、平日は非常にばらつきが大きい。また、平日客はコースを料金で選択する動きが根強く、民事再生法適用後に大幅に値下げをしているコースに行ってしまう。
	競輪場（職員）	お客様の様子	・来場者数は減少し、購買単価は低下している。
	その他サービス [自動車整備業]（事務長）	競争相手の様子	・同業のフランチャイズ店の在庫も若干減少しているようである。仕事の少ない週には、週に2度休んでいる。法人客とは別に、女性を含めた一般客の獲得に必死である。
	設計事務所（所長）	競争相手の様子	・仕事の受注は相変わらず少ない状況であるが、今までになく相談や問い合わせが多く、個人住宅の建設意欲が感じられるようになってきている。
	住宅販売会社（経営者）	単価の動き	・住宅用の土地は、立地、環境が良くて特別安くないと売れないという厳しい状況である。単価は下落傾向にある。
	住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・客は物件を購入したい素振りを示すものの、値段交渉が強く、なかなか成約には至らない。賃貸でも依然として賃料の値引き要求が激しく、デフレ現象が一層進んでいる。
やや悪くなっている	一般小売店[青果]（店長）	それ以外	・地域内の同業店が4月だけで2軒閉店しており、本当に大変な時期である。
	百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・消費税総額表示の影響のためか、買い得商品を掲載した売上の販売高が低下している。
	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・3月までは前年比105%と上向きであったが、4月に入り前年を下回っている。内税表示になってからは500円以上の弁当類が全く売れなくなっている。
	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・今月の受注ペースは前年比70%とやや悪い。
	住関連専門店（店長）	販売量の動き	・4月1日の総額表示導入の影響で、販売数が減少している。
	美容室（経営者）	来客数の動き	・月の前半は非常に良かったが、後半は大きく売上が落ち込んでいる。客の回転が悪く、依然として来客数は低迷している。
悪くなっている	スーパー（店長）	お客様の様子	・大規模競合店の出現と消費税の総額表示が原因で悪くなっている。客は総額表示を支持しておらず、高くなった、値段に慣れていないので買いづらいということから、販売量、単価、全てが悪化している。

		スーパー（経営企画担当）	販売量の動き	・4月1日からの消費税総額表示により客が割高感を感じるようになり、1人当たりの買上点数が減少し、売上に影響している。月の後半にかけて徐々に回復はしているものの、以前の買上点数にはまだ至っていない。全社ベースでの4月の売上は前年比95%となっている。
		衣料品専門店（店長）	販売量の動き	・春物ブルゾン、ジャケットなど羽織物の売上を見込んでいたが、暑い日が続いたため、カットソーやTシャツなど、低単価商品中心の動きとなり、思うように売上が伸びていない。
企業 動向 関連	良く なっている	輸送用機械器具 製造業（総務担 当）	受注量や販売量 の動き	・4月は中間決算となるが、前年比での経常利益が20%増となる見込みである。3か月前と比較しても、前年比での売上が15%増であり、景気は上向いている。
	やや良く なっている	金属製品製造業 （経営者）	取引先の様子	・このところ工作機械の大手メーカーである親会社から、従来にはないような金額の高い機械の引き合いが出てきている。これは工作機械や精密機械メーカーが設備投資をし始めたということなので、明るい兆しである。
		一般機械器具製 造業（生産管理 担当）	取引先の様子	・しばらく注文が途絶えていた取引先数社から、仕事が間に合わないで手伝ってほしいという依頼が入っている。また、協力工場各社も仕事を相当抱えている様子である。
		その他製造業 〔宝石・貴金 属〕（経営者）	受注量や販売量 の動き	・今月行った展示会の来場者数、売上はいずれも前年を上回っている。
		輸送業（営業担 当）	取引先の様子	・取引先の中では、ホームセンター系の雑貨商品等の出荷量が好調で、前年を上回っている。
		金融業（調査担 当）	取引先の様子	・建設業者の倒産がやや減少している。製造業では、下請業者の仕事が多くなってきている。
		新聞販売店〔広 告〕（総務担 当）	受注量や販売量 の動き	・折込チラシの受注量が前年比107%と、4か月連続で前年を上回っている。また、大型ではないものの新規出店があり、首都圏からのチラシが増加している。
		経営コンサルタ ント	それ以外	・経営革新を図ろうとする企業や規制緩和に関連する分野の企業などで、新しい事業計画に着手するところが出てきている。
	変わらない	食料品製造業 （営業統括）	受注量や販売量 の動き	・出荷動向は一部に堅調な動きがみられるものの、需要全体の低迷や輸入ワインとの競合から、生産、出荷とも苦戦している。
		化学工業（総務 担当）	受注量や販売量 の動き	・建設、構築物関係に回復の兆しはなく、鉄骨を溶接する際に使用する酸素、アセチレン、炭酸等にはまだ春が来ていない。
窯業・土石製品 製造業（経営 者）		取引先の様子	・取引先の売上高が徐々に増加傾向に転じているものの、一部の製品のみであり、具体的な受注にはつながらっていない。	
建設業（経営 者）		受注量や販売量 の動き	・新規の受注が増えない上に、鋼材等が値上がりしており、採算が悪化している。	
広告代理店（営 業担当）		受注量や販売量 の動き	・広告に対する反響からみると、消費者の購買意欲は悪くはない。地方経済は決して回復してきたとはいえないが、マインドは若干回復傾向にある。広告受注も昨年比105%とわずかながら伸びている。	
その他サービ ス業〔放送〕（営 業担当）		受注量や販売量 の動き	・商業、サービス業、流通業からのスポットコマーシャルの受注が上向いているが、受注期間が短く、小口化している。また、イベント受注が減少している。	
やや悪く なっている	窯業・土石製品 製造業（経営 者）	受注量や販売量 の動き	・例年に比べ、受注量の動きが悪くなっている。	
悪く なっている	建設業（総務担 当）	取引先の様子	・民間工事の土木設備の関係で、取引先から支出を極力抑えたいので、人員は用意するから現場作業の指導監督のみをお願いしたいという相談を受けている。	
	不動産業（経営 者）	受注価格や販売 価格の動き	・以前の価格からは考えられない受注価格の仕事がこなくなっている。	
雇用 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	求人情報誌製作 会社（経営者）	求人数の動き	・周辺エリアの求人広告は依然として順調な伸びをみせており、特に来月の募集が増加している。アウトレットでの20社120名の募集に対しては、200名の応募が来ており、順調である。

	求人情報誌製作会社（経営者）	周辺企業の様子	・求人情報や広告等の宣伝に経費をかける周辺企業が目立ち、受注がかなり増加してきている。
	新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・これまでは景気の悪い話しか出なかったが、最近は景気が良さそうな事業所、個人が増えており、求人広告も若干増加傾向にある。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は増加傾向にあり、有効求人倍率も4か月連続で0.8倍台を維持している。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・有効求人倍率が9か月連続で上昇している。また、就職者数も3か月連続で増加している。
	民間職業紹介機関（経営者）	求人数の動き	・技術職、専門職、製造現場の求人が多く、建設、土木、不動産関係が低調という状況や、事務系の求人が狭き門であることは変わっていない。サービス関係の求人数はアルバイト、パートを中心に多くなっている。
変わらない	求人情報誌製作会社（経営者）	求人数の動き	・依然として求人形態は厳しい。正社員の募集は少なく、パートや派遣社員が多い。中高年の募集は特に少なく、厳しい状況である。
	職業安定所（職員）	求職者数の動き	・求職者数は年未年始と比べると増加しているが、前年同時期比では減少している。
	学校〔短期大学〕（就職担当）	求人数の動き	・今春の卒業生に対する求人問い合わせは、事務職を中心に数件きている。
やや悪くなっている	-	-	-
悪くなっている	-	-	-